

【膀胱破裂の早期診断における腹水検査の有用性】に対するご協力をお願い

研究代表者 済生会松山病院 内科

職名 医長

氏名 東野 誠

下記の研究を、当院倫理審査委員会の承認ならび院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、参加される方への新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨をこの掲示の後方に記載している連絡先までお申し出下さい。

研究に参加しないからといって、あなたが不利益を被ることはありません。

1 対象となる方

2019年1月1日より2024年12月31日までの間に当院にて腹水アルブミン検査を含む腹水穿刺検査および血清アルブミンを含む血液検査を同日に受けた方。

2 研究課題名

承認番号

研究課題名 膀胱破裂の早期診断における腹水検査の有用性

3 研究実施機関

済生会松山病院

4 研究の意義、概要、目的、方法

膀胱破裂は比較的まれな疾患です。そのため、早期に疑って診断することが難しく、患者様の状態によっては命に関わることもあります。

膀胱破裂の主な症状には、腹痛、嘔吐、腹部膨満感などがあり、初めに内科を受診される方も多くいらっしゃいます。検査では腎機能障害や腹水貯留がみられることがあり、腹水が認められた場合、私たちは腹水の特徴を評価して診断の参考にしています。しかし、膀胱破裂はまれな疾患であるため、腹水の特徴から診断を検討した報告は非常に少ないのが現状です。

腹水の検査項目の一つに、Serum-Ascites Albumin Gradient (SAAG) という指標があります。これは血清アルブミンと腹水アルブミンの差を示すもので、1.1 g/dL を基準として、高値の場合は門脈圧亢進症が原因であることが多いとされています。膀胱破裂では、血清アル

ブミンは通常低下せず、尿にアルブミンはほとんど含まれません。したがって、腹水中のアルブミンも少なく、結果として SAAG は比較的高値になると考えられます。

このことを明らかにするために、2019年1月1日から2024年12月31日までの間に、当院で腹水アルブミン検査を含む腹水穿刺検査および血清アルブミンを含む血液検査を同日に受けた方を対象に、腹水の原因疾患と SAAG との関係を評価します。

収集したデータは個人を特定できないように匿名化したうえで解析を行います。

5 協力をお願いする内容

年齢、性別、臨床検査データ（血清アルブミン、腹水アルブミン）、診療記録を利用させていただきます。

6 本研究の実施期間

倫理審査委員会承認（2025年7月9日）後～2025年8月8日

7 予測される危険や不利益

この研究では診療で得られたデータを使用するので、患者さんに新たな負担を生じる可能性はありません。

8 プライバシーの保護について

個人情報はずべて匿名化され、提供いただいた診療録のデータは番号のみで扱われるので、個人が特定されることはありません。研究結果を発表するときも個人が特定されることはありません。本研究に登録したくない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。申し出がなかった場合には、登録を了承していただいたものとさせていただきます。なお、登録を拒否されても、患者さんに不利益を生じることはありません。

9 問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

済生会松山病院

電話番号 089-951-6111

担当者名 東野誠（研究責任者）